

○フクロウ(2018)記録

保護日数	日付	曜日	エサ	備考
1	11月15日	木	-	<p>8:45に市役所から入電 国道161号大溝橋(勝野)から大津方面に200mほどのところで、フクロウがケガをしてパタパタしているとの情報。中央分離帯横にいるのを発見し、回収。 BW:620g キールスコア:3 診断:レントゲンにより、骨盤骨折が確認された。骨盤の形状はしっかりしているので保存療法とする。 そのほかには、目立った所見はない。レントゲンで、胃の中に小動物の骨がみられたので、今日は給餌を控えた。 処置:消炎鎮痛剤(インフラカム)を注射。</p>  
2	11月16日	金	ウズラ	<p>朝 ウズラー口+消炎鎮痛剤(粉:オンシオール) 夜 ウズラ半身 翼が開けない程度の段ボールで安静を維持。1日2回敷材を交換。 夜に段ボールの中で暴れてる音を聞いた。</p>
3	11月17日	土	ウズラ	<p>朝 ウズラー口+消炎鎮痛剤(粉:オンシオール) 夜 ウズラ半身 翼が開けない程度の段ボールで安静を維持。1日2回敷材を交換。</p>
4	11月18日	日	ウズラ	<p>朝 ウズラー口+消炎鎮痛剤(粉:オンシオール) 夜 ウズラ半身 翼が開けない程度の段ボールで安静を維持。1日2回敷材を交換。 脚で抵抗するようになってきた。</p>
5	11月19日	月	ウズラ	<p>朝 ウズラー口+消炎鎮痛剤(粉:オンシオール) 夜 ウズラ半身 翼が開けない程度の段ボールで安静を維持。1日2回敷材を交換。 最初は立っているが、しばらくすると左脚側がお尻から座るような恰好になる。しかし、薬を経口で入れるときには抵抗するようになってきた。</p>
6	11月20日	火	ウズラ	<p>朝 ウズラー口+消炎鎮痛剤(粉:オンシオール) 廊下を飛ぶ。飛翔は問題ないが、後ろに座るのは変わらない。 夜 ウズラ半身 朝方に段ボールの中で暴れている。</p> 

○フクロウ(2018)記録

保護日数	日付	曜日	エサ	備考	
7	11月21日	水	ウズラ	朝 ウズラー口+消炎鎮痛剤(オンシオール) つかむとしっかりと抵抗するようになってきた。 夜 ウズラ半身	
8	11月22日	木	ウズラ	朝 ウズラー口+消炎鎮痛剤(オンシオール) 日暮れ後に段ボールを破って外にでている。 夜 ウズラ半身 飛翔に問題はない。	
9	11月23日	金	ウズラ	夜 ウズラ半身 部屋の中で少し自由にする。	
10	11月24日	土	ウズラ	夜 ウズラ半身	
11	11月25日	日	ウズラ	夜 ウズラ半身	
12	11月26日	月	ウズラ	夜 ウズラ半身	
13	11月27日	火	ウズラ	夜 ウズラ半身	
14	11月28日	水	ウズラ	朝に餌入れに乗っている。乗れるものがあるようにブロックに木をくりつけてとまれるようにする。 夜 ウズラ半身 夜にかなり暴れている。朝には段ボールを破った痕跡があった。	
15	11月29日	木	ウズラ	中途半端な高さでとまれるようにすると確実にその下に落ちるフンに尾羽がつくことになる。また、角度のある状態で汚れた地面につくため、折れやすくなる懸念がある。それならば、とまれるところを無くし、尾羽が汚れにくく、また角度のない状態で伸びている方が良い。 夜 ウズラ1匹 放鳥に向けて、しっかりと餌を与えていく。	
16	11月30日	金	ウズラ	後ろに座ることはもう全くない。 20時ごろにレントゲンで骨造成を確認。 夜から4mケージに放す。 夜ウズラ1羽	
17	12月1日	土	ウズラ	4mケージに放す。 夜ウズラ1羽	

○フクロウ(2018)記録

保護日数	日付	曜日	イサ	備考
18	12月2日	日	ウズラ	<p>ウズラ60gを給餌後19:56に放鳥。保護場所から近い打下の日吉神社御旅所で放鳥。すぐに神社の木の高木に着枝。環境省リング(12番)と発信機2.22g(+結束バンド小の根本のみ)を装着。</p> <p>NW : 317 MW : 334 Tai : 260 Tar : 51.3 Excul : 34.9 TH : 79.1</p> <p>動画 : https://youtu.be/cW_XN18d5VA</p>
19	12月3日	月		<p>7:00 乙女ヶ池奥、放鳥場所から西南西700m程度の山で受信。 20:45 西に600mの山側の城山台住宅付近で受信。</p>
20	12月4日	火		<p>9:30 乙女ヶ池奥、放鳥場所から西南西700m程度の山で受信。かなり山深い可能性がある。 22:30 鶴川のバイパス沿いで受信。放鳥場所から約2.8km。</p>
21	12月5日	水		12:30 行方不明(高島町～北小松まで搜索)
	12月6日	木		以降、受信できず

